

こだわり米生産者部会（JAこうか特別栽培米生産部会）での 良食味生産への意識づけと「みずかがみ」PR

2 月 1 日(土)に開催された「JAこうか特別栽培米生産者部会」総会で、良食味米生産にかかると意識づけと近江米新品種「みずかがみ」のPRを行いました。

当部会は、会員 754 名、作付面積 820ha で、環境こだわり基準で栽培する生産者部会です。甲賀地域水稲作付面積の 6 割を超える環境こだわり米において、このうち 4 割のシェアを占め、品質面でも県平均を上回る当地域の 1 等米比率をさらに上回る成績を毎年あげています (H25 産県うち 61.9%—甲賀うち 72.9%—特裁米 3 品種 76.7%)。

来年度からは、環境にこだわるだけでなく良食味による差別化が決定され、良食味米生産にかかると手引きを技術監修した当課から、総会後に説明を行いました。また、一般財団法人日本穀物検定協会関西神戸支部から講師を招き、「食味官能試験による近江米の評価について」と題して基調講演をいただきました。

技術監修した手引きの内容は、現行の稲作技術指導指針を基本としていることから、今後設置予定の展示ほでの調査結果を土壌タイプ別に整理し、甲賀地域独自の手引きとなるよう、さらなる充実を図ることとしています。

また、近江米新品種「みずかがみ」についても、会場入り口にポスター、幟旗、精米、パンフレットなどを展示するPRコーナーを設けました。県目標 1,000ha を超える作付けに向けて、少しでも後押しできるよう今後も当地域での推進を図る予定です。



多数の生産者による総会開催



会場入り口に設けたPRコーナー